

# 原爆症 認定訴訟が 明らかにしたこと

## 被爆者とともに何を勝ち取ったか

### 東京原爆症認定集団訴訟を記録する会 [編]

## 原爆症 認定訴訟が 明らかにしたこと

被爆者とともに  
何を勝ち取ったか

東京原爆症認定集団訴訟を記録する会 [編]

おい日本人よ、恥しいと思わないのか。  
せめて、この本の原告らの意見陳述だけでも読んでくれ。  
健康を奪われ、学校仲間からも世間からも差別され、国からも捨て  
られた被爆者。それさえも救えないニッポンはほんとに悲しい国です。



おい日本人よ、  
このまんまで  
いいのですか。

推薦 早坂 暁 (作家)

あけび書房

A5判・400ページ 税込 **3990円**

本書「はじめに」より

本書は、原爆というものの残酷さと、それが人間にもたらす悲惨さを一人でも多くの皆さんに知っていただき、一刻も早い核兵器廃絶に繋がたいという思いも込めて企画されました。その矢先、昨年3月11日に福島第一原発事故が起こり、低線量・内部被曝が国民的な関心を集める一方、核兵器と同じように原子力発電の危険性が浮き彫りになりました。これを一日も早く停止させ、脱原発を実現することも焦眉の課題となっています。

本書が放射線の恐ろしさを考える市民の皆さんに、そして法律家になって安心・安全な社会を作るために役立ちたいと考えている大学生、法科大学院生や修習生など若い皆さんに、一人でも多く読んでいただくことを切望します。

もくじ

第I部 1章 ● 総論 原爆症認定集団訴訟—東京の経過

第I部 2章 ● 座談会 壮大な闘いを振り返って

東友会メンバー座談会 被爆者として命をかけて訴えてきたこと  
弁護士座談会・パートI この原爆症認定裁判が切り拓いたものはなに  
弁護士座談会・パートII 被爆者の熱意、専門家の努力、支援者の力で  
弁護士座談会・パートIII 弁護士としてかけがえない学びの場でした  
おりづるネットメンバー座談会 被爆者の皆さんとともに歩み、闘い続けて

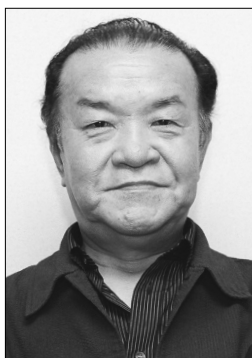
第I部 3章 ● 手記 この歴史的な闘いに参加して

弁護士、医師、研究者、国会議員、支援者など46人

第II部 ● 意見陳述 法廷での原告の切実な訴え

原告19人の被爆体験とその後の苦しみの痛切な証言

資料編 ● 原告一覧 / 判決要旨と声明 / 年表



推薦 早坂 暁 (作家)

おい日本人よ、恥しいと思わないのか。  
せめて、この本の原告らの意見陳述だけでも読んでくれ。  
健康を奪われ、学校仲間からも世間からも差別され、国からも捨てら  
れた被爆者。それさえも救えないニッポンはほんとに悲しい国です。

おい日本人よ、  
このまんまでいいのですか。

あけび書房

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5  
TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609  
E-mail: akebi@s.email.ne.jp http://www.akebi.co.jp

ご購入のうえ、最寄りの書店が取扱先、あるいはあけび書房へご注文下さい。 キリトリ線

注文書	『原爆症認定訴訟が明らかにしたこと』を( )冊注文します		書店印・取扱先
	氏名または団体名(ご担当者) ( )		
	送り先 〒 ( )		
	電話 ( )		
備考		発行●あけび書房 TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609	

ISBN978-4-87154-109-1 C3036 ¥3800E